

2026年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月14日
東

上場会社名 一正蒲鉾株式会社 上場取引所
コード番号 2904 URL <https://www.ichimasa.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 野崎 正博
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 高島 正樹 (TEL) 025-270-7111
コーポレート事業統括本部長
配当支払開始予定日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期第1四半期の連結業績(2025年7月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第1四半期	7,433	1.2	△216	—	△235	—	△121	—
2025年6月期第1四半期	7,344	0.2	△51	—	△78	—	7	△58.7

(注) 包括利益 2026年6月期第1四半期 43百万円(△14.9%) 2025年6月期第1四半期 50百万円(8.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第1四半期	△6.65	—
2025年6月期第1四半期	0.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第1四半期	31,971	14,692	45.7
2025年6月期	30,413	14,908	48.8

(参考) 自己資本 2026年6月期第1四半期 14,615百万円 2025年6月期 14,828百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	14.00	14.00
2026年6月期	—	—	—	—	—
2026年6月期(予想)	—	0.00	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年6月期の連結業績予想(2025年7月1日～2026年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	19,910	4.5	800	△21.9	850	△22.0	580	△39.2
通期	36,200	4.7	1,100	23.4	1,150	26.8	750	0.4

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 - 社 (社名) 、除外 - 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年6月期1Q	18,590,000株	2025年6月期	18,590,000株
2026年6月期1Q	281,988株	2025年6月期	281,988株
2026年6月期1Q	18,308,012株	2025年6月期1Q	18,377,912株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 発行済株式数に関する当社は「株式給付信託 (BBT)」を導入しており、期末自己株式数については、「株式給付信託 (BBT)」が保有する当社株式 (2026年6月期1Q 216,900株、2025年6月期 216,900株) が含まれています。また、期中平均株式数 (四半期累計) の計算において控除する自己株式については、「株式給付信託 (BBT)」が保有する当社株式 (2026年6月期1Q 216,900株、2025年6月期1Q 147,000株) を含めています。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

文字本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2025年7月1日～2025年9月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド消費の増加等により、景気は緩やかな回復傾向で推移しています。一方で、原材料や資材価格の高止まり、エネルギー価格の上昇、円安の進行、米国の関税政策強化や長期化する世界的な地政学リスクなど、外部環境の不透明感が続いています。

食品業界は、価格改定や商品規格の見直しが継続されるなか、消費者の節約志向や生活防衛意識が一層強まっており、当社グループを取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続いています。

このような状況のもと、当社グループでは、“ICHIMASA30ビジョン”（2045年度のありたい姿）を目指し、2021年7月から2026年6月までの第二次中期経営計画の最終年を迎え、“国内外のマーケットへの果敢なチャレンジを通じ、事業の成長力・収益力基盤を確立し、ファーストステージ「成長軌道への5年」を確実に実現する。”を基本方針として経営課題に取り組んでいます。

また、地球環境の維持は企業活動の持続的な成長・発展のためには不可欠であり、「持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）」の達成を目指し、当社グループもステークホルダーの皆さまと協働しながらサステナブルな課題の解決に取り組んでいます。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は74億33百万円（前年同四半期比89百万円（1.2%）の増加）、営業損失は2億16百万円（前年同四半期は営業損失51百万円）、経常損失は2億35百万円（前年同四半期は経常損失78百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億21百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益7百万円）となりました。

セグメントの状況は、次のとおりです。

（水産練製品・惣菜事業）

売上は、2025年3月1日納品分より実施した価格改定の効果が継続していることに加え、主力のスティックタイプのカニかまを中心とした販売数量の伸長や、保存性・利便性に優れた商品の堅調な販売が寄与しました。

利益は、生産性向上やコスト削減に努めたものの、主原料であるすり身をはじめとする原材料費や労務費の上昇などコスト増加の影響を受け、前年同期を下回りました。

以上の結果、当セグメントの売上高は66億3百万円（前年同四半期比88百万円（1.4%）の増加）、セグメント損失（営業損失）は69百万円（前年同四半期はセグメント利益（営業利益）92百万円）となりました。

（きのこ事業）

売上は、酷暑の影響により消費の伸び悩みが見られたものの、キャンプやバーベキューなどのアウトドア需要を見込んだ大容量商品の提案や、業務用チャネルへの新規取組を進めた結果、前年同期を上回りました。

利益は、原材料価格やエネルギー価格の高止まりが続いたものの、省エネルギーをはじめとするコスト削減や生産効率の向上、安定栽培および品質向上に取り組んだ結果、前年同水準となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は7億45百万円（前年同四半期比8百万円（1.2%）の増加）、セグメント損失（営業損失）は1億76百万円（前年同四半期はセグメント損失（営業損失）1億77百万円）となりました。

（運送・倉庫事業）

運送部門は、収益力の高い自社便事業の強化に向けた新規輸送便の獲得、ならびに適正運賃改定への取り組みにより、売上・利益ともに前年同期を上回りました。

倉庫部門は、新規入庫案件の獲得に向けた営業を強化しましたが、一方で寄託者の原料調達方法が保管コストを意識した当用買いへ変化したことなどの影響を受け、在庫水準が低調に推移した結果、新規入庫量の減少に加え、回転率低下による収益面のマイナス要因もあり、売上・利益ともに前年同期を下回りました。

以上の結果、当セグメントの売上高は85百万円（前年同四半期比7百万円（8.5%）の減少）、セグメント利益（営業利益）32百万円（前年同四半期はセグメント利益（営業利益）35百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は103億90百万円（前連結会計年度末比14億38百万円の増加）となりました。これは主に売掛金の増加や需要期に備えた商品及び製品並びに仕掛品の増加によるものです。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は215億81百万円（前連結会計年度末比1億20百万円の増加）となりました。これは主に有形固定資産の減価償却の進行に伴う減少の一方、投資有価証券の時価評価上昇の増加によるものです。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は101億7百万円（前連結会計年度末比24億28百万円の増加）となりました。これは主に未払金及び未払費用の減少の一方、季節的要因による短期借入金の増加によるものです。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は71億72百万円（前連結会計年度末比6億53百万円の減少）となりました。これは主に長期借入金の減少によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は146億92百万円（前連結会計年度末比2億16百万円の減少）となりました。これは主にその他有価証券評価差額金の増加の一方、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び配当金支払いの減少によるものです。自己資本比率は、前連結会計年度末の48.8%から45.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年6月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想については、2025年8月8日に公表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,100,387	1,245,609
売掛金	3,411,459	3,817,256
商品及び製品	903,936	1,869,745
仕掛品	607,120	835,390
原材料及び貯蔵品	2,624,374	2,320,661
その他	306,789	304,005
貸倒引当金	△1,759	△1,803
流動資産合計	8,952,309	10,390,865
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,173,835	7,081,823
機械装置及び運搬具（純額）	6,072,345	6,021,491
工具、器具及び備品（純額）	238,746	239,089
土地	3,575,253	3,584,245
リース資産（純額）	1,568,264	1,527,898
建設仮勘定	176,651	271,799
有形固定資産合計	18,805,096	18,726,347
無形固定資産		
のれん	113,490	105,211
その他	295,937	288,942
無形固定資産合計	409,428	394,153
投資その他の資産		
投資有価証券	1,833,066	2,058,304
繰延税金資産	88,234	90,594
その他	349,393	336,231
貸倒引当金	△24,500	△24,500
投資その他の資産合計	2,246,194	2,460,629
固定資産合計	21,460,718	21,581,131
資産合計	30,413,028	31,971,996
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,998,573	2,052,582
短期借入金	2,807,915	5,418,396
未払法人税等	140,325	69,264
賞与引当金	84,658	352,976
役員賞与引当金	27,915	—
未払金及び未払費用	1,974,890	1,771,234
その他	644,223	442,886
流動負債合計	7,678,501	10,107,341

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
固定負債		
長期借入金	5,527,659	4,915,776
リース債務	1,441,214	1,402,131
役員退職慰労引当金	43,825	44,262
役員株式給付引当金	110,995	117,877
繰延税金負債	368,276	362,635
その他	334,286	329,842
固定負債合計	7,826,257	7,172,525
負債合計	15,504,758	17,279,866
純資産の部		
株主資本		
資本金	940,000	940,000
資本剰余金	650,000	650,000
利益剰余金	12,442,035	12,060,900
自己株式	△208,803	△208,803
株主資本合計	13,823,231	13,442,097
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,040,354	1,202,608
為替換算調整勘定	△35,483	△29,054
その他の包括利益累計額合計	1,004,870	1,173,554
非支配株主持分	80,168	76,478
純資産合計	14,908,270	14,692,130
負債純資産合計	30,413,028	31,971,996

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
売上高	7,344,544	7,433,685
売上原価	5,926,753	6,198,243
売上総利益	1,417,791	1,235,442
販売費及び一般管理費	1,469,695	1,452,424
営業損失(△)	△51,904	△216,982
営業外収益		
受取利息	11	98
受取配当金	9,965	11,626
受取賃貸料	2,816	1,448
受取手数料	290	129
売電収入	6,043	6,057
雑収入	5,113	8,653
営業外収益合計	24,242	28,013
営業外費用		
支払利息	14,748	28,387
支払手数料	—	9,300
持分法による投資損失	2,816	—
為替差損	5,667	8,055
貸倒引当金繰入額	27,880	—
雑損失	15	317
営業外費用合計	51,128	46,059
経常損失(△)	△78,791	△235,029
特別利益		
投資有価証券売却益	118,915	75,827
特別利益合計	118,915	75,827
特別損失		
固定資産除却損	690	0
特別損失合計	690	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	39,434	△159,202
法人税、住民税及び事業税	61,861	52,364
法人税等調整額	△30,233	△83,243
法人税等合計	31,628	△30,879
四半期純利益又は四半期純損失(△)	7,805	△128,322
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△6,537
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	7,805	△121,785

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	7,805	△128,322
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	45,739	162,255
為替換算調整勘定	—	9,260
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,813	—
その他の包括利益合計	42,925	171,515
四半期包括利益	50,730	43,193
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50,730	46,883
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△3,690

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	442,775千円	460,696千円
のれん償却額	—	6,150

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	水産練製品・ 惣菜事業	きのこ事業	運送・倉庫 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	6,514,619	736,844	93,081	7,344,544	—	7,344,544
外部顧客への売上高	6,514,619	736,844	93,081	7,344,544	—	7,344,544
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	148,901	148,901	△148,901	—
計	6,514,619	736,844	241,982	7,493,445	△148,901	7,344,544
セグメント利益又は損失(△)	92,826	△177,691	35,484	△49,380	△2,524	△51,904

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,524千円は、主にセグメント間取引消去です。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	水産練製品・ 惣菜事業	きのこ事業	運送・倉庫 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	6,603,145	745,355	85,184	7,433,685	—	7,433,685
外部顧客への売上高	6,603,145	745,355	85,184	7,433,685	—	7,433,685
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	155,580	155,580	△155,580	—
計	6,603,145	745,355	240,764	7,589,265	△155,580	7,433,685
セグメント利益又は損失(△)	△69,499	△176,908	32,375	△214,032	△2,950	△216,982

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,950千円は、主にセグメント間取引消去です。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において、「その他」に含まれていた「運送・倉庫事業」の量的重要性が増したため、報告セグメントを従来の区分から、「水産練製品・惣菜事業」及び「きのこ事業」、「運送・倉庫事業」の3区分に変更しています。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しています。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。